

## 入札監視委員会の審議概要について

平成28年度第1回中国運輸局入札監視委員会が開催されましたので、審議概要を以下のとおりお知らせいたします。

開催日及び場所	平成28年9月26日 中国運輸局 会議室	
委員	水中 誠三 (水中綜合法律事務所 弁護士) 木谷 直俊 (広島修道大学 名誉教授) 三井 正信 (広島大学大学院 教授)	
審議対象期間	前回報告分以降 ~ 平成28年7月31日	
抽出案件	総件数 64 件	(備考)
一般競争	15 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	49 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

質 問	回 答
荷物運送契約は昨年度の一者応札から今年は複数応札となっているが、契約金額に大きな変更がないのはなぜか。	昨年度契約した事業者が昨年度実績額をもとに入札してきたためと思われます。
ガソリン購入等契約はこれまでどおり1者入札か。	ガソリン等購入については以前から委員に1者入札の解消についてご指摘をいただいているので、当方としても情報収集する等方策を検討しているところです。例えば県によっては県の協同組合に加入している事業者はメーカーにかかわらず同一金額での契約ができるような体制をとっているものもあります。こういった動きが他県でも広がるか注視しているところです。
自動車購入にあたって燃費も考慮したうえで、車種を決めるということか。	環境省の燃費基準を踏まえたうえで、価格と環境性能を総合評価して落札者を決定しています。
トナーカートリッジ等(3者)と文具・事務用品等(2者)の購入契約の入札者数が少ないのではないか。	管内支局等への納品は請負事業者から直接を基本としており、中には小口のものもあるため、手間から敬遠されていることもあると考えられます。
複合機の件に限らず、一者入札は高額になりやすいということはないか。	予定価格決定に際しては、事前の市場調査や過去の実績を踏まえる等しています。
以前と比べると1者入札のものは減ってきており、この解消に向けて努力されていることがうかがえるが、更に参加者を増やすための方策は何か考えているか。例えばレンタカー契約などはもっと参加者が増える余地があるのではないか。	公示期間を長くするなど、工夫していく予定です。
観光関係の企画競争の中には参加者が少ないものがある。これは、参加可能な業者が限られているからか。	なるべく多くの事業者には声がけをしています。中には海外での広告宣伝等、一定のノウハウ等が必要な事業もあります。現在、観光政策は国、自治体を問わず大きな柱となっており、各省や各県でも様々な事業が立ち上がっているため、事業者側のマンパワーが不足していることもあるようです。
これまでの観光系の事業では旅行代理店が多かったが、今年は他の業種も参加しているのか。	今はいろいろコンサル系も含めて手広く事業展開している会社もあります。また、中国地方所在の事業者以外にも九州等の事業者も参加しています。

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。

平成28年度 中国運輸局入札監視委員会名簿

(構成:3名)

委員会役職	氏 名	職 業
委員長	水中 誠三	弁護士
委員	木谷 直俊	広島修道大学 名誉教授
委員	三井 正信	広島大学大学院 教授